

3/26 将来を担う子どもたちのために寄附
～荒尾子ども未来基金 寄附金贈呈式～



「荒尾子ども未来基金」に対し、一般社団法人熊本県 LP ガス協会荒尾ブロック様から寄附がありました。以前にも寄附をいただき、これまでの基金の活用状況について話をさせていただくと、「子どもたちのために使っていただき嬉しいです」と話されました。

今年度、新たな活用として、新生児の聴覚障がい早期発見や早期治療につなげるため、新生児に対して実施する聴覚検査に係る費用を助成します。

4/8 地域の安全に長きにわたり貢献
～消防団永年勤続功労章を受章～



小川佳宏さん（金山上）に、消防庁長官から消防団永年勤続功労章が贈られました。

小川さんは、「最初は地域の先輩方に誘われて、軽い気持ちで消防団に入部しました。まさか30年以上も続けることになるとは夢にも思いませんでしたが、段々と消防団活動を続けていくうちに、防災への意識が芽生えてきました。ことしの4月から副団長を拝命しており、防災意識の高い団員を育てていければと思っています」と話し、今後の活動にも意欲を見せました。

4/11 日中の伝統文化を体感
～宮崎兄弟生家牡丹茶会～

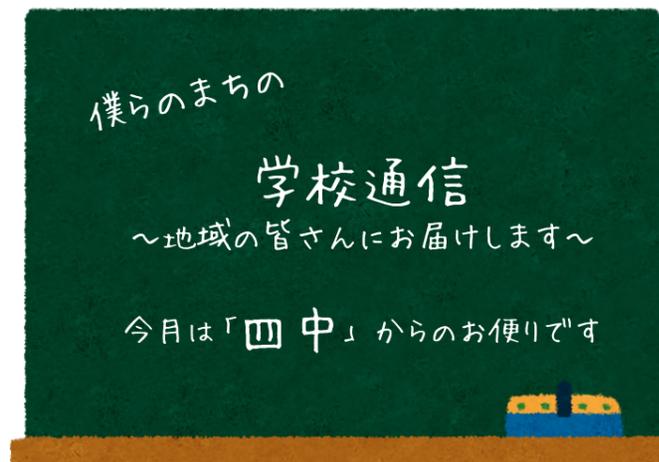


宮崎兄弟生家の牡丹園は、宮崎滔天が中国に渡ったときに持ち帰り植えたことが始まりです。来場者50人は満開に咲き誇る牡丹を見ながら、海陽中茶道部員がたてたお抹茶と牡丹の形をしたお菓子を楽しみました。自身も茶道をしている御船町の甲斐さんは「牡丹がきれいでお茶もお菓子もおいしかった」と話しました。

また、王怡さんによる中国の伝統楽器「二胡」の演奏も行われ、目で、口で、耳で日本と中国の伝統文化を感じる一日となりました。



1・3 子どもから大人まで多くの人が来場 2 二胡の大会での優勝経験もある王怡さんの演奏に来場者から大きな拍手が送られました 4 中国原産のジャガの花。宮崎兄弟生家では季節ごとにさまざまな花を見ることができます 5 お茶をたてた海陽中茶道部3年生の皆さん



～郷土を愛し、未来を切り拓く生徒の育成～

今年度の生徒会スローガンを「覇気～一人ひとりが主役、みんなの熱意が学校を変える～」とし、日々の学校生活を送っています。生徒たちに身につけさせたい資質・能力に「課題解決能力」、「共感力」、「自立力」の3つを設定し、生徒と職員、そして家庭や地域とともに頑張っています。

課題解決能力 見通しを持ち、自ら判断し、行動できる生徒

「四中校区学習名人」を目指し、一分前着席で授業開始前に黙想をし、心を落ち着け授業に臨んでいます。授業では、可能な範囲で話し合い活動に積極的に取り組んでいます。帰りの会前には10分間の「自学タイム」で、その日の家庭学習の計画を立て、家庭学習にも力を入れることができます。

共感力 他の人の思いに共感し、つながり合う生徒

学校行事のあとに、「ありがとうメッセージ集会」を行っています。学級、学年を超えて感謝の気持ちを伝えることができます。昨年は新型コロナウイルスの影響で、リモートでの開催でしたが、とても心温まる時間となりました。

自立力 自己管理ができ、粘り強く取り組める生徒

「率先立ち止まり挨拶」が受け継がれています。朝の校門前での挨拶運動には、生徒会役員だけではなく部活動による参加もあり、朝から気持ちのよい挨拶が聞こえてきます。「無音清掃」にも力を入れていて、「五つの心」を意識し、掃除リーダーが中心となって縦割り班で清掃活動を行っています。

おもな内容 main contents

新型コロナワクチン接種	2
まちの話題	5
梅雨時期の災害から命を守る	8
6月は環境美化の月	10
令和3年度当初予算	11
市民病院からのお知らせ	15
保健・健康	16
子育てのひろば	18
くらしの情報	20
試験・募集・イベント	23
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	27
図書館情報	28
文化センター情報	29
相談の窓口など	30
あらおカレンダー	32

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
☎ 福祉課福祉係 ☎ 63-1406

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今月号に掲載している情報に変更が生じる場合もあります。イベントや行事への参加などをはじめ、掲載情報をご利用になる場合は最新の情報を改めて確認することをおすすめします。

広報あらおをスマホへお届け



アプリをダウンロードすると、いつでも・どこでも・簡単に広報紙を閲覧することができます。